

第3学年国語科学習指導案

日 時 平成27年11月24日(火) 5校時

場 所 今市っ子図書館

授業者 担任・学校司書

1. 単元名 この犬がすごい! 「はたらく犬」リーフレットをつくろう
(教材『もうどう犬の訓練』 吉原 順平 東京書籍 3年下)

2. 単元の目標

○「はたらく犬」について関心を持ち、進んでいるいろいろな本や文章を読もうとしている。

【国語への関心・意欲・態度】

○文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを要約することができる。

【読むこと】

○目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むことができる。

【読むこと】

○文と文とのつながりを考え、指示語や接続語を捉えることができる。

【言語に関する知識・理解・技能】

3. 基盤

本単元は、小学校学習指導要領第3学年及び第4学年の「C読むこと」の内容に基づき、「はたらく犬 リーフレットを作ろう」という言語活動を位置づけた。人の役に立つ「はたらく犬(盲導犬、聴導犬、介助犬、災害救助犬、警察犬、セラピー犬など)」について書かれている本や資料を読み、リーフレットにまとめるという活動を通して、文章を要約する力を育てることをねらいとしている。

本時では、自分の選んだ「はたらく犬」について調べた情報カードをもとに、自分が伝えたい「はたらく犬」のすごいところを友達と見合っ、大切な言葉や文を確かめ合う学習を行う。同じ働く犬を選んだグループで聞き合ったり、教え合ったりする。

4. 本単元における情報リテラシーとのかかわり

【つかむ】

- ・単元の初めに、「この犬がすごいーはたらく犬リーフレットを作ろう」という単元のゴールを示し、見通しをもたせる。
- ・教師が自作したリーフレットを見せることで、活動の意欲を高める。
- ・学校司書による関連図書紹介を通して、「はたらく犬」に関心を持ち、進んで調べようとする意欲を高める。

【さがす・えらぶ】

- ・学校司書と相談し、児童が調べたいテーマに合った資料に出会えるようにする。
- ・教材文の学習を行いながら、「はたらく犬」に関する関連図書の並行読書を行い、自分に必要な情報集める。
- ・リーフレットに必要な情報を見つけて、「はたらく犬」のすごいところを情報カードに記録する。

【まとめる・伝え合う】

- ・自分がまとめようとするリーフレットの情報カードを友達と見せ合い、よりよいものにするために話し合いをする。
- ・情報カードをもとに、リーフレットにまとめる。
- ・完成したリーフレットを友達と紹介し合ったり、家の人に見せて感想をもらったりする。

5. 学校図書館活用教育との関連

教材名	単元のねらい
自然のかくし絵	段落ごとの内容をとらえながら文章を読むことができる。
もうどう犬の訓練	大事な言葉や文を見つけながら文章を読み、書かれていることを要約することができる。
人をつつむ家	文章や絵から読み取ったことを整理し、いろいろな家の作りについて考えることができる。

- ・学校図書館の本を活用。
- ・学校図書館で学習を行う。
- ・学校司書による図書紹介
- ・司書教諭によるシンキングツール（ピラミッドチャート）の紹介
- ・司書教諭によるリーフレット紹介。

6. 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読むこと	言語に関する 知識・理解・技能
「はたらく犬」について関心を持ち、いろいろな資料を進んで読み、調べようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて大事な言葉や文を見つけながら読み、書かれている内容を要約することができる。 ・目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むことができる。 	文章を読み、指示語や接続語の役割を理解している。

7. 単元の指導と評価の計画(全14時間)

次	時	目標	学習内容	評価					学校図書館との連携
				関	書	読	言	評価規準(評価方法)	
一	1 2	「はたらく犬」に関心を持ち、単元の見通しをもつことができる。	○教師自作の「はたらく犬リーフレット」を提示し、学習の見通しを持ち、流れをつかむ。 ○学校司書による、「はたらく犬」についてのブックトークを聞く。	○				【関】「はたらく」に関心を持ちながら、ブックトークを聞くことができる。 (行動観察・発言)	○
二	3 4 5 6 7 8	教材文を読み、盲導犬の訓練の仕方を読み取り、要約することができる。 図書資料から「はたらく犬」について、情報を集め、要点をまとめることができる。	○盲導犬の訓練について文章構成を読み取り、文章構成図に整理する。 ○「はたらく犬」のすごいところを情報カードに記録する。 ○シンキングツール(ピラミッドチャート)の使い方を知り、自分の考えをまとめる。			○		【読】 文章の要点や細かい点に注意し、言葉を補ったり書き換えたりしながら内容を要約している。(ワークシート・ノート)	
三	9 10 11 (本時) 12 13 14 課外	○情報を集めながら、集めた情報を整理することができる。 ○自分が紹介したい「はたらく犬」について、大事な言葉や文を伝えることができる。 ○調べて分かったことを整理して、紹介するために大事な言葉や文を落とさないように要約している。	○要点を構成して、リーフレットにのせる内容を計画する。 ○自分がまとめようとするリーフレットの情報カードを友達と見せ合い、よりよいものにするために確かめ合う。 ○情報を整理し、要約してリーフレットにまとめる。 ○リーフレットを完成させ、友達と紹介し合う。 ○家の人に、リーフレットをもとに自分が調べた働く犬について、紹介する。 ○学習全体の振り返りをする。		○	○	○	【読】 調べて分かったことを整理して紹介するためにだいたいな言葉や文を落とさないように要約している。(情報カード) 【言】 文と文とのつながりを考え、指示語や接続語を捉えることができる。(リーフレット)	○

「はたらく犬」の本 並行読書

8. 本時の学習（第三次 11時間目）

(1) 本時の目標

自分が紹介したい「はたらく犬」について、大事な言葉や文を伝えることができる。

【読むこと】

(2) 展開

時間 (分)	主な学習活動と予想される児童の反応	教師の支援○ 評価☆
5	1. 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 分かりやすく要約できているか友だちとたしかめ合おう。 </div>	○学習の流れを示し、本時の見通しをもてるようにする。 ○リーフレットにまとめたことを家の人に紹介するというめあてを確認し、意欲につなげる。
25	2. グループの友だちと紹介し合い、意見を交流する。 ・こっちの情報カードの方が、よりすごいところが伝わるよ。 ・私も同じことを調べていたよ。 ・その情報カードで、すごいと伝えたいことがよく分かったよ。	○同じ働く犬を選んだ児童でグループを構成し、話し合いができるようにする。 ○「すごいと伝わる情報カードになっているか」について、考えながら聞くことを確認する。 ○内容が確かめられるように、自分が使った図書資料を準備しておく。 ○友達からもらったアドバイスは、付箋で付け加えることができるようする。
10	3. 学習の振り返りをする。	○ワークシートに記入させる。 ☆自分が「はたらく犬」について要約したことを、友達と確かめ合うことができる。(付箋、ワークシート、行動)
5	4. 次時の確認をする。	○今日の話し合いを活かして、リーフレットにまとめることを伝える。

(3) 本時の評価規準と支援

十分に満足できると判断できる児童の具体例	おおむね満足できると判断される児童の具体例	努力を要すると判断される児童への支援
自分が紹介したい「はたらく犬」について要約したことを、友達とたがいに確かめ合うことができる。	自分が紹介したい「はたらく犬」について、大事な言葉や文を伝えることができる。	自分が紹介したい「はたらく犬」について、支援者と大事な言葉や文を確かめることができる。

(4) 研究の視点

「はたらく犬」のすごいところを紹介するために、情報カードを用いながらグループで話し合ったことは、大事な言葉や文をおさえて分かりやすい要約する上で有効であったか。